

令和6年度

施政方針

碧南市長 禰 宜田 政信

## 始めに

年始め1月1日に発生した能登半島地震により被災をされました皆様に心からお見舞い申し上げます。亡くなられた方々の御冥福と、行方不明とされている方々が一刻も早く見つかることと、一日も早い復興を遂げられますよう心からお祈りを申し上げます。

碧南市といたしましても、被災されました皆様が一日も早くこれまでの生活が取り戻せるよう支援してまいりますので、市民の皆様、議員各位におかれましては、支援活動に御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成20年4月に市長に就任いたしました、早いもので4期目の任期も残りわずかとなりました。この15年余りを振り返ってみますと、常に市議会の皆様、市民の皆様、関係各位の御協力と御支援をいただきながら、市民満足度と費用対効果の向上を目指し、市政運営に邁進してまいりました。

特に、4期目は就任時から新型コロナウイルス感染症を始めとする社会情勢の悪化に伴う緊急的な対応を迅速に行い、予定しておりました事業の延期や中止もございましたが、昨年5月から新型コロナウイルス感染症が感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の5類感染症への移行に伴い、以前の活動が徐々に戻ってまいりました。移行後は、市制施行75周年事業を予定どおりに実施し、新たな生活様式の経験により、コロナ禍前以上の活気が生まれてきたように感じます。これもひとえに、市議会を始め関係者の皆様、市民の皆様の御理解と御協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

## 碧南市を取り巻く経済財政環境

我が国の経済動向でございますが、3年間にわたるコロナ禍の影響が終わり消費や設備投資が増え経済状況は回復の兆しがありますが、ロシアのウクライナ侵略や中東情勢の緊迫化による先行き不透明な状況が続いております。また、世界的な金融引締め動き等により、海外の景気減速も懸念されます。

国内では、賃金上昇が物価上昇に追いつかない状況で、今後、物価上昇に負けない持続的な実質賃金の上昇が必要とされます。

このような状況の中、令和6年度の税制改正大綱において国は、物価高に

よる国民負担を緩和する定額減税の実施や、賃上げ促進税制の強化等を盛り込みました。また、スタートアップ・エコシステムの抜本的強化のための措置を講じ、加えて、グローバル化、地域経済や中堅・中小企業の活性化等に係る税制の見直しを盛り込みました。これらの施策が市民の生活や事業活動の活性化につながることを期待するものであります。

## **令和6年度を取組**

令和6年度の行財政運営といたしましては、第6次碧南市総合計画の基本的理念に基づき、碧南市の将来像である「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」のまちづくりを、次に掲げます3つの方針に沿って進めてまいります。

1点目は、「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」でございます。

災害被害を最小限に留めるために、主要道路、狭あい道路、橋梁、上下水道等のインフラ整備、空き家対策、学校施設、市営住宅や第2配水場等の公共施設の長寿命化を進め、市民生活のライフラインを守り、安心・安全に生活できる災害に強いまちづくりを目指してまいります。また、新たなハザードマップ等を活用した自助・共助による防災活動を推進し、災害時に市民同士が協力し迅速に避難できるように、市民の防災意識の向上を図ってまいります。

2点目は、「産業と港を活かしたまちづくり」でございます。

ゼロカーボンシティ宣言に基づき事業者の省エネ、再エネの導入を推進するとともに、衣浦港の脱炭素化に向けた取組に協力し、カーボンニュートラルを進めてまいります。また、矢作川堤防リフレッシュ道路、碧南用水上部整備を行い、加えて港湾護岸を改築等してまいります。

さらに、市民の働きがいの創出や本市独自の魅力を活かした産業の振興を図るため、工場等の新設や新規創業への支援を充実させ、安定的な税収と雇用の創出を維持するとともに、新たな農作物のブランド化や工業用地の整備を進めてまいります。

3点目は、「誰もが笑顔で元気に暮らせる賑わいのあるまちづくり」でござ

ざいます。

子どもから高齢者まで、障害の有無や国籍に関わらず、誰一人取り残さない思いやりにあふれたまちづくり推進のため、健康づくりに関する事業、安心して子育てできる保育サービスの提供、介護サービス、外国人窓口の充実等の施策を引き続き実施してまいります。また、行政手続の電子化等を計画し、快適に暮らせるように推進してまいります。その他、スポーツやレクリエーション活動のできる賑わいの場の創出を図るため、スケートボードパーク、ビーチコートを利用した各大会の誘致や支援等を通し、臨海部におけるスポーツ・レクリエーション活動を推進してまいります。

## **令和6年度予算編成**

令和6年度当初予算につきましては、4月21日執行の市長・市議会議員選挙を控えておりますので、新規の政策的予算の計上を差し控え、重要課題であります安心安全対策や、まち・ひと・しごと創生事業等の継続事業を基本とする骨格的予算を編成いたしました。

この結果、一般会計の予算総額は、前年度当初予算額に対し、1.1%増の338億6千万円余となりました。

歳入面におきまして、その根幹をなす市税では、総額で180億9千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして11億3千万円余、率にして6.7%の増を見込みました。このうち個人市民税は、45億円余、前年度当初予算額に対し、金額にして2億2千万円余、率にして4.8%の減であります。これは、定額減税による3億5千万円の減収を見込んだもので、この減収分はすべて地方特例交付金において補てんされます。また、法人市民税は、27億8千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして13億5千万円余、率にして94.9%の大幅な増を見込んでおります。これは、臨海部大手企業による円安効果や業績回復等により大幅な収益増を見込むものであります。

また、固定資産税は、89億1千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして3千万円余、率にして0.4%の減を見込んでおります。これは、評価替えにより家屋の経年減価による減、資源高、円安等の影響により新たな設

備投資による償却資産の増加を見込めないことによるものであります。

なお、事業推進のための財源不足につきましては、財政調整基金を始めとする基金の活用により対応してまいります。

## 主要な施策

次に、歳出面につきましては、第6次碧南市総合計画の施策の大綱に沿って、主要な施策を中心に申し上げます。

1つ目は、「**安心安全で住みやすいまち**」でございます。

防災施策では、災害時の浸水想定区域の見直しに伴い、避難場所の再検討を行い、新たに作成するハザードマップを全戸配布して、地域防災力を高めてまいります。また、災害発生時に避難者等へ配給する非常食、飲料水及び便袋等を計画的に更新してまいります。

次に、防犯施策では、引き続き防犯カメラ設置にかかる支援を行い、地域の防犯力を高め誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。

次に、水道事業につきましては、安全な水道水の安定供給を維持するため、老朽化の進む第2配水場の長寿命化を図るとともに、健全な水道事業経営に努めてまいります。

次に、下水道事業につきましては、令和8年度の市街化区域の公共下水道の完了に向けて整備を進め、水質保全と快適な生活環境を確保するとともに、効率的な経営に努めてまいります。また、近年の台風の大型化や集中豪雨による浸水対策のため、雨水排水施設の整備を進めてまいります。

次に、公園事業につきましては、施設の適切な維持管理に努めるとともに、市民の憩いの場やレクリエーションの場となるよう、西荒居公園の整備を行ってまいります。また、安全な利用環境及び長寿命化を図るため、計画的に遊具の更新等を進めてまいります。

次に、環境保全施策では、ゼロカーボンシティ宣言に基づき、脱炭素社会の実現のため市民の皆様、事業者の皆様とともに温室効果ガスの削減を推進

してまいります。そのために、第3次碧南市環境基本計画の着実な実施に努めるとともに、温室効果ガス削減を目的とした、ゼロカーボンドライブの普及促進を図る次世代自動車購入費補助事業と再生可能エネルギーの利用促進を図るスマートハウス設備設置費補助事業を継続し、カーボンニュートラルの実現に努めてまいります。また、ごみの減量化につきましては、環境に配慮したバイオマス素材を配合した燃やすことのできるごみ袋の配布及びシルバー人材センターへの委託による資源ごみステーションの運営を継続し、一層のごみ減量及び資源化への意識向上を図ってまいります。

2つ目は、「人と文化が育ち・支え合うまち」でございます。

児童福祉施策では、多様な保育需要に対応できるよう、保育士の確保及び業務負担の軽減を図るため、民間保育所等に対し、保育士確保対策及び保育体制強化、保育補助者雇用強化に要する経費の補助を継続してまいります。また、令和7年度を計画初年度とする5か年計画の「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定してまいります。

次に、妊娠から出産、子育ての期間に寄り添い支援をする「伴走型相談支援」と妊婦及び出生した子どもを対象として応援給付金を支給する「経済的支援」を一体的に実施し、切れ目のない子育て支援を行ってまいります。また、不妊治療費助成や産後ケア事業を拡充し、少子化対策や出産直後の母子支援を行い、子育てしやすい環境を整備してまいります。

次に、教育環境の充実につきましては、新たに令和8年度からの部活動地域移行を見据え、部活動外部講師の拡充を進めてまいります。また、児童生徒1人1台のタブレット端末を活用した教育の推進に伴うICT（情報通信技術）機器の導入による学習環境の変化に対応するため、ICT支援員による授業のサポートを継続し、教育の質の向上及び教職員の業務負担軽減を図ってまいります。また、学校施設関係では、中央小学校、新川小学校のトイレ改修工事並びに鷺塚小学校、西端小学校、大浜小学校のトイレ改修事業設計業務委託をし、学校施設のトイレ改修を早急に進めてまいります。

次に、スポーツの振興につきましては、2026アジア大会のビーチバ

レーの競技会場が碧南緑地ビーチコートに内定したことから、ビーチスポーツに対する関心をより高め、盛り上げていくため、ビーチバレー及びビーチサッカー大会を開催、誘致してまいります。また、スポーツ団体との連携による各大会開催の支援をしております。

次に、平成3年に開館し、32年が経過している南部市民プラザは老朽化が進んでおり、大規模改修工事のための実施設計業務を行っております。また、水族館は、引き続き「新しい人の流れづくり」を意識し、水族館外壁塗装工事を行います。老朽化した水族館2階展示エリア改修設計委託をし、令和7年度に水族館2階展示エリアの改修委託を実施しております。

次に、令和5年にリニューアルオープンをした藤井達吉現代美術館では、「松本竣介《街》と昭和モダン展」、歴史系企画展の巡回展として「没後100年 富岡鉄斎展」等の開催を予定しております。

次に、保健衛生施策では、引き続き、健康寿命延伸を目標に、へきなん健康づくり21プラン推進のため、がんを含めた生活習慣病の発症及び重症化予防に対して重点的に取り組んでまいります。とりわけ、筋トレルーム60を活用した高齢者の健康維持や乳がん検診を始めとする各健康診査事業の受診しやすい環境整備による早期発見、受診後のサポート体制の充実等に取り組んでまいります。また、へきなん健康づくり21プラン（第2次）の計画期間が令和6年度までとなることから、令和7年度からの計画策定を行っております。

次に、病院事業につきましては、物価高騰の影響によるコストの増加が未だ続いておりますが、令和5年度に策定した経営強化プランを着実に実施し、コストの見える化、購買プロセスの厳格化による経費の節減や施設基準の取得推進等による収益の確保に確実に取り組み、経営改善に努めてまいります。また、医師の働き方改革に基づき、適正な労務管理を推進することで医師の負担軽減を図り、持続可能な医療提供体制を維持するとともに、医療職の積極的な確保や地域の診療所との連携体制の強化により、地域の高度医療及び救急医療を提供する二次救急病院としての役割を今後も果たしてまいります。

次に、高齢者福祉施策では、高齢者の外出促進による健康保持、コミュニ

ケーションの促進を図るため、市内入浴施設等で無料入浴サービス、高齢者の外出手段の確保を目的としたタクシー料金の助成を継続し、社会参加の促進や家族の介護負担の軽減を図ってまいります。また、第9期高齢者ほっとプランの基本理念である「高齢者が安心して暮らせるあたたかい共生のまちづくり」に基づき、高齢者が安心して暮らせる施策を実施してまいります。身近な相談窓口として、より充実した高齢者の支援のために地域包括支援センターの機能強化を図ってまいります。

次に、障害者福祉施策では、へきなん障害者ハーモニープランのうち、障害福祉計画及び障害児福祉計画を令和5年度に策定しました。社会情勢や障害をお持ちの方を取り巻く現状を踏まえ、支援を必要とする人への適切なサービスを提供してまいります。また、障害福祉施設整備を推進し、障害福祉の向上を図るとともに、発達支援関係機関との連携により、障害者及び障害児への支援の充実に努めてまいります。

次に、社会保障制度の運営においては、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができる期間の延伸を図るため、保健事業と介護予防の一体的実施事業を行ってまいります。また、元気っ子医療費助成等の福祉医療事業を、引き続き実施してまいります。

3つ目は、「**都市の発展に向けた活力を生み出すまち**」でございます。

都市基盤整備に関する施策では、矢作川堤防リフレッシュ道路の整備や（都）碧南駅前線の電線共同溝の整備を行い、道路景観等地域の魅力を高めると共に利便性の向上を図ってまいります。また、長田橋の改修や潮見亥新田線を始めとする主要道路の舗装改良工事を継続し、道路の安全性の確保や耐久性の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指してまいります。

次に、住宅地の整備や密集市街地の改善対策として狭あい道路の拡幅整備や空き家の除却、耐震改修等にかかる支援を継続し、安全な住宅市街地の形成に努めてまいります。また、新築住宅建設等促進補助金による市内での住宅建設や取得を支援するとともに、子どもから高齢者までの世代が安心して生活ができるように、世代間で助け合える環境整備の促進を目的として、三世代での同

居等に伴う住宅取得の支援も継続してまいります。その他、鴻島地区において、市街地整備を促進し良好な住宅地の確保を図るため、土地区画整理事業の立ち上げに向けた支援を継続してまいります。

次に、「碧南市市営住宅ストック総合活用（兼市営住宅長寿命化）計画」により計画的な修繕工事を実施し、市営住宅の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげるため、向山住宅、笹山住宅及び三度山住宅のエレベーター耐震改修工事等を行ってまいります。

次に、農業振興施策では、認定農業者等の農業経営改善計画による取組に対する支援や認定新規農業者に対する経営開始資金の支援等を継続し、担い手の確保・育成を図ってまいります。また、農水産業施設整備施策では、パイプライン化された碧南用水の上部整備を実施し、施設の維持管理及び安全対策を図ってまいります。その他、老朽化の進む川口揚水機場の更新整備支援の継続や土地改良施設の排水機場の排水ポンプを始めとする機械設備の更新や分解整備及び点検補修等を行い、農業経営の安定及び振興を図ってまいります。さらに、農産物のブランド化を推進するため、生産団体等のPR活動を支援してまいります。

次に、愛知県が大浜漁港内に設置する浮棧橋の整備費用を一部負担し、漁業振興を図ってまいります。

次に、西端地区の北部産業地では、県道道場山安城線と市道大久手3号線交差点改良工事や排水工事を行い、企業立地のためのインフラ整備を行ってまいります。

また、商工業振興施策では、カーボンニュートラルの実現に向けて、市内中小企業の省エネルギー、再生可能エネルギー設備投資への支援の他、新規創業にかかる初期投資に対する支援等の市内中小企業に対する支援策の充実に努めてまいります。

次に、魅力ある観光地づくりでは、3大花まつりを実施するとともに、スタンプラリー等のPR事業を行い、観光事業の振興を図ってまいります。また、大浜地区のてらまちを中心とした効果的なPRに加え、引き続き、三英傑ゆかりの地についてのPR事業を行い、市内外からの観光客の誘客も図っ

てまいります。

次に、公共交通では、高齢者や障害者等の交通弱者だけでなく、広く市民の交通手段として、引き続きくるくるバスを運行してまいります。また、名鉄三河線廃線（碧南駅以南）以降の沿線住民の交通手段でありますふれんどバスでは、バス事業者に運行経費の補助を継続することで、市民の公共交通による利便性を確保してまいります。

4つ目は、「ともに創る自立したまち」でございます。

ふるさと応援寄附金制度の充実強化では、ルール改正や全国でふるさと納税に力を入れてきている自治体が増え自治体間の競争は激しさを増していますが、返礼品の新規開発に対する補助の継続や市内地場産品を全国にPRする機会を創出してまいります。また、寄附者に対し、本市の魅力や考え方、寄附金の使途等を掲載したPRチラシを発送し、寄附をきっかけとした交流人口や関係人口の増加を期待するとともに、将来的には本市への移住・定住促進に繋がるよう、引き続き、お礼の品を通じて碧南市を全国に発信してまいります。

次に、市民への情報発信として、引き続きLINEの碧南市公式アカウントから市政情報を発信し、市民が欲しい情報を瞬時に提供できるように努めてまいります。

次に、碧南の夏を熱く盛り上げる市民まつり「元気ッス！へきなん」を、元気ッス！へきなん市民会議が中心となって、個人・団体・企業との連携により開催します。また、冬の街に明るさと活気をもたらす「きらきらウォーク」を実施するため、有志市民の実行委員会へ補助を行ってまいります。その他、協働のまちづくり推進のため、地域の課題に取り組む「地域まちづくり組織」の設置に向けた啓発活動や、まちづくりに取り組む人材の育成を推進してまいります。

次に、国籍や人種に関わらず誰もが安心して暮らせる住み良いまちにするため、令和4年度から市役所に外国人相談窓口を設置し、通訳兼相談員やテレビ通訳用タブレットを使い、15言語による通訳ができようになりました。

引き続き、地域における外国人の受入環境を整備し、多文化共生に対する理解の促進を図ってまいります。

次に、行政のデジタル化とICTの活用として、デジタル推進室を設置し、窓口に来庁しなくても手続きが完了する電子申請を推進し、市民サービスの向上を図ってまいります。また、市民がデジタル化に向け機器の操作方法を学ぶ教室を開催して、電子申請等の普及に努めてまいります。その他にも、令和8年度から開始される地方公共団体情報システムの標準化に関し、指定された20業務について国が定める標準化仕様書に則った標準化システムへ移行できるよう準備をしてまいります。施設や各課窓口での使用料・手数料等の支払いに伴うキャッシュレス決済を広げてまいります。

次に、引き続き図書館サービスのデジタル化推進のため、電子図書館の普及に努めてまいります。

次に、市有財産につきましては、市有財産利活用基本方針に基づき、民間への貸付や処分等の利活用を進めるとともに、公共施設等総合管理計画に基づく各施設の適切な維持管理や計画的な修繕の実施により長寿命化を図ってまいります。また、照明のLED化を全庁的に取りまとめ計画的に実施することで、電気使用量の削減やカーボンニュートラルにも努めてまいります。

以上、令和6年度の主な施策につきまして申し述べました。

## **最後に**

新型コロナウイルス感染症は、5類感染症へ移行された今もなお感染者の増減を繰り返しておりますが、コロナ禍前の平穏な状況の年明けを迎えました。しかしながら、1月1日に発生した能登半島地震により地震による怖さを改めて感じることになりました。碧南市としても引き続き防災対策に力を入れていく必要があります。また、重要課題である次世代に向けた産業力の強化、子育て世代への支援、若者世代への魅力づくり、高齢者の生きがいの創出、公共施設の効率的な利活用の推進、行財政運営の健全化等に取り組んでまいります。一方で、高齢化による扶助費の増加、市民病院の健全化等、

財政運営は厳しいものが予想されます。その中でも、市民サービスの質の向上を図るとともに今ある資源を最大限に生かしながら、各課題に取り組んでまいりますので、市議会並びに市民の皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。私の施政方針といたします。